

町のうき	
本籍数	4,585
本籍人口	14,843
世帯数	3,483 (3,382)
住民登録人口	13,580 (13,520)
内 男	6,568
内 女	7,012

5月1日現在
()内は4月1日現在

広報 てんのう

No. 102

昭和47年

6月1日発行

発行・秋田県天王町役場 TEL(天王)1.42.135
編集・企画室 印刷・一日市印刷 TEL(018875)2038

広域市町村圏 設定急ぐ

七月設定を目標に準備中

秋田市、男鹿市、南秋田郡、河辺郡の二市八町二村を圏域とする「広域市町村圏」を設定するため、昨年十一月「秋田周辺地域広域行政促進連絡協議会」が発足し、「ことし」の七月設定を目標に準備が進められています。

広域市町村圏計画の策定やその計画に基づいて実施される事業については、国、県の財政上の援助があります。

国では

①広域市町村圏計画の策定に要する経費についての補助、一圏域あたり平均百五十万円。

②広域市町村圏計画に基づいて行なわれる根幹的な事業に要する経費についての補助、一圏域あたり二二年間で二千万円の補助。

③広域市町村圏計画に基づいて行なわれる根幹的な事業に要する経費についての地方交付税の特別措置、地方債の許可なども優先的に考慮することになっています。

県では

①広域市町村圏の計画に基づいて行なわれる根幹的な事業に対しては、国の補助金と同様の補助をすることになっています。一圏域あたり二二年間で二千万円。

それでは、広域市町村圏では将来、どのような事業を進めていくかということで、各市町村

の意向を調査していましたが、現時点で考えられる予定事業は次のとおりです。

防災

①広域消防 ②広域救急業務

生活環境施設

①下水道 ②上水道 ③ごみ処理施設 ④し尿処理施設 ⑤火葬場 ⑥総合運動公園

保健衛生

①救急医療体制の確立

社会福祉施設

①老人福祉センター(老人休養施設) ②総合福祉センター ③養護老人ホーム

教育文化施設

①教育センター(視聴覚ライブラリー、交通安全教育を含む) ②総合体育館(総合グラウンド) ③教育キャンプ場

観光

①広域観光

行政の合理化

①広域行政センター(コンピュータの導入)

広域市町村圏とはなにか

広域市町村圏は、市町村が当面している問題を解決しようとするものですから、これが設定

されることによって、市町村の広域行政が推進され、公共施設の整備が図られ、住民サービスの向上することになります。

広域市町村圏計画の具体的な内容としては、圏域内の市街地や集落をどのように配置し、そして、これらをどのように道路で結ぶかということ(広域ネットワーク)と、上、下水道、し尿、ごみ処理などの生活環境施設、社会福祉施設、教育文化施設、医療などにより、市町村の力では処理できない施設の整備を関係市町村が、共同で圏域内に効率的に適正配置、整備するのが広域市町村圏の計画です。

五月初旬にスタートした田植え作業が、ほとんど終わった。早い地区では、四日頃から始まり、十三日頃には、どこの田んぼも農家の人たちがいっぱいになった。羽立青年部の展示ほでは、田植え機械が活躍、見る見るうちに苗が植ええられる。ネコの手も借りたい農繁期を終え、ホッと一息いれる間もな

豊作を願って 田植え終わる



▲羽立青年部の展示ほでの機械植え

五路線が完成

47年度の道路舗装工事

町では、今年度の重点事項のひとつとして道路整備を取り上げているが、四十七年度当初予算に計上している道路舗装工事(農道整備事業も含む)九路線のうちすでに五路線が完成した。

できあがったのは、二田新町北団地通り、同南団地通り、天王八号線、江川線、出戸新町踏み切り道の五路線で、この完成した工事の費用は、約一千七百十五万円となっている。



▲舗装工事が完成した二田新町南団地通り

四地区で共同炊事

ことしも、田植えを迎えた農繁期に大崎、中羽立、三軒屋とそれに、ことし初めてという二田地区で共同炊事を実施した。献立表に添って調理した、そのメニューは、味、栄養は満点、農作業での疲れもふっ飛んでしまう。

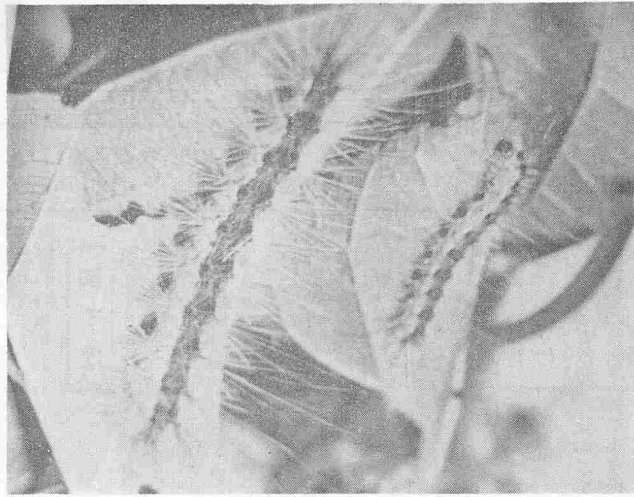
チームワークよろしく農作業にいそしみ、地域住民の人間関係も密になり、社会生活の面でも好評であった。

☆ ☆ ☆

早期発見、早期防除を

「緑の大敵」アメリカシロヒトリ
―緑の大敵―アメリカシロヒトリは、昭和四十七年に秋田県ではじめて発生確認され、年々その発生が拡大し、被害が増大していきす。

「緑の大敵」アメリカシロヒトリ



▶緑を食い荒らすアメリカシロヒトリの幼虫

この虫は、繁殖力がすくなく、針葉樹をのぞくあらゆる樹木、農作物を食い荒らします。一年に二回発生し、第一回目の幼虫は六月中旬ごろ、第二回目の幼虫は八月下旬ごろ発生しはじめサナギとなり、越冬します。

◎防除適期

第一世代―六月中旬～七月上旬
第二世代―八月下旬～九月下旬

◎防除方法

▼巣を除去する方法
ふ化した後、小さいうちは巣をつくって集団で生活します。このため、幼虫が巣から出て拡大する前に、巣のかかった枝を切り取って踏みつぶすか、焼き捨てるのが発生密度をさげるうえで、もっとも効果的です。この防除をするためには、六月上旬、中旬、八月上、中旬に観察を強めて、巣の早期発見につとめることが大切です。

▼薬剤による防除法

高い木で巣の取れない場合、または、防除する木が多い場合すでに幼虫が巣から離れてしま

ある家庭の日のこと。わたしの家では「家庭の日」ということで、みんなが朝六時におきて、六時半までにごはんをすませ、六時三十分から大そうじにとりかかりました。自分のへやや持ちものは、自分でかたづけすることにしました。みんな、めいめいにかたづけ、仕事がおわったときは九時半頃でした。

「家庭の日」作文コンクール

入選作品

天王小五年 三浦留美子

④

現在 46年度

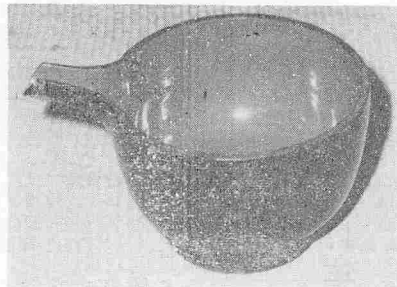
やく三時間かかったのです。そうじがおわると、家の中がみちがえるほどきれいになりました。そうじているうちに、家の中に、父、母、祖父、祖母とわたしだけで、兄と姉の姿はみえませんでした。

わたしは、昼まで勉強しました。わからないところが、いっぱいありました。でも、兄も姉もいないので父にききました。父は、すぐおしえてくれました。それは、自分の役目のことでした。まず、わたしの仕事は、にわをはいたり、ふとんのあげさげです。兄は、ごはんのとき

お話しをしながらの食事は、とても長い時間でした。そうして、いよいよつぎの日からは、家族全員が、力を合わせて実行にうつったのです。この日にきめた仕事の中で、わたしが一番力を入れてがんばっているものは、ふとんのあげさげです。これだけは、父や母に手つだってもらわず、どんなにねむくとも、きめたやくそく

つた場合は、なるべく幼虫の小さいうちにDEP乳剤(ディブテレックス)千倍、MEP乳剤(スミチオン)千倍の薬剤を散布します。

◎被害盛期



カタクチ(片口) (2)

方言ではヒシヤゲとよんでいる。食物類のうち、酒やトロロなど液体のものを他のものに移すときに用いた。昭和の初め頃までの日用器具木製で外は黒、内は赤のうるしぬり。



第一世代―七月中旬～下旬
第二世代―九月下旬～十月中旬
このころは、すでに幼虫も大きくなり、発生場所も拡大されているので、防除はなかなか困難です。

都市計画区域を明示

―追分地区―

町では、四十六年に決定した都市計画区域の市街化区域と市街化調整区域との境界に「ク」を打ち、区域を明らかにしました。この「ク」には、都市計画の頭文字「都」という文字が、赤のマジックインキで明示されています。

ただいま受け付中

住宅建設資金の貸し付け
ただいま、住宅金融公庫の融資にかかる「個人住宅建設資金」の四十七年度貸し付けの申し込みを受け付けています。申し込みの受け付け期間は、九月三十日までです。建設場所のもよりの「住宅金融公庫業務取扱店」または「住宅金融公庫受付取扱店」と表示した金融機関で申し込みをしてください。

資格

自分の住むための住宅を必要としており土地の準備のできている人。また、収入月額が当初の償還金の6倍以上ある人。今年からは老人対策の一環として老人「六十五才以上の方」が同居する場合は割増しの融資を受けることができるようになります。その他詳細については、より金融機関が役場建設課管理係におたずねください。

役場異動

【配置転換】五月六日付
社会教育主事併任(町民課長) 石黒兼造

- 教育委員会総務係長(公民館社教係長) 伊藤金政
- 公民館社教係長(教育委員会総務係長) 石川光男
- 公民館勤務(町民課) 菅生一也
- 町民課勤務(公民館) 永井莚

【任用】五月十六日付

- 出戸小看護婦 石田いほ子
- 追分小看護婦 工藤ウメノ
- 退職 四月三十日付
- 総務課文書係長 米谷嘉一郎

じょうぶな赤ちゃんを

初の母親教室で学ぶ

「じょうぶな赤ちゃんを」と「母親教室」を行なった。町では、四月二十七日町公民館。これは、妊娠九カ月未満のお



▲キューピー人形を使つてのモク(沐)浴の実技
見つめる姿は真剣そのもの

かあさんやおかあさんになられる方を対象に、今年度から新しく実施したもので、十五人の妊婦さんたちが出席した。内容は、妊娠中の心得、新生児の健康観察のポイントなどをスライドを見ながらの説明があり、さらに栄養の取り方、モク(沐)浴の実技など、生まれてくる赤ちゃんのための正しい知識を学んだ。

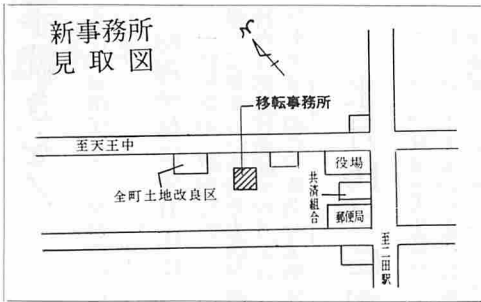
特に、モク浴の指導では、キューピー人形を使つての実技指導で、当日の参加者たちは、元気な、すこやかな赤ちゃんを生み、そして、じょうぶに育てようと真剣な表情で受講していた。

町では、奇形児や未熟児は肉体的、精神的にも弱い子どもになるため、妊娠中毒症を予防するとともに、妊娠中の保健指導を強化しようと、この教室を隔月一回程度で開催する予定を組んでおり、該当者は、積極的に出席されるよう強く望んでいる。

土地改良 事務所移転

出戸江川、南部干拓地区

五月から天王町出戸江川土地改良区と八郎潟南部干拓地区土地改良区、同第二、同第三の事務所が役場(天王中線、道路わきの旧農林事務所天王土地改良駐在所へ)移転しました。
電話は、出戸江川が一三三、南部干拓第二が二一八、同第三が二四〇番です。



▶出戸小学校の校庭に立てられた遺跡の標木

出戸小学校庭に 遺跡の標木

県教委で立てる。天王町地内の縄文時代土器の出土遺跡として、このほど出戸小学校校庭に県教育委員会が、

北野遺跡の標木を建設した。昭和三十一年に出戸小学校の校地整備工事のときに縄文土器が出土したこと、この遺跡が教育の場であるために県教委では、標木を建設したものとと思われる。

▶走る姿は健康そのもの(天小にて)



さわやかな一日

四小学校で運動会

ボク一等だヨ、ピリはイヤダナー——五月晴れのもと、町内四小学校の運動会が、農繁期のあい間をぬって多彩に行なわれた。
揃いのユニフォームに身を包んだ子どもたちは、はつらつとした顔で競技に望む。
一等になるか、ピリになるか走ってみるまわらない。そんな不安を背に、リレー、障害競走に懸命にゴールを走りぬける。おかあさんたちも朝早くから弁当を持って、会場にぞくぞくと詰めかける。さわやかに澄みわたった青空に、子どもたちの健康がきれいに写し出され、満足感に満ちあふれた、すがすがしい一日を過ごした。

46年度は40件の取り扱い

心配ごと相談状況

このほど、町社会福祉協議会では、四十六年度の心配ごと相談の取り扱い状況をまとめた。心配ごと相談所は、毎週月曜日、役場町民室で開かれ、常勤相談員五名、民生委員十三名、相談協力員四名が相談にあたり、四十六年度は、延べ六十一回開かれた。このうち、移動相談は羽立、上出戸、天王の三回開かれていた。

相談事項	件数						
	生活苦の相談	生活改善	住宅の相談	健康相談	家庭不和	精神衛生相談	その他
相談所内で解決したもの							3
相談所で継続指導中のもの				1	2		12
他の機関に紹介したもの	4	1	1	4		2	7
計 (実件数)	4	1	1	5	2	2	17

今月の心配ごと相談室は、五日、十二日、十九日、二十六日の四回開かれます。時間は、午前十時から午後三時までです。

46年度心配ごと相談取り扱い状況

